P/ ENT ABSTRACTS OF PAN

(11)Publication number:

01-121553

(43)Date of publication of application: 15.05.1989

(51)Int.CI.

F02G 1/057

F02G 1/055

(21)Application number: 62-277905

(71)Applicant: SANYO ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing:

02 11 1987

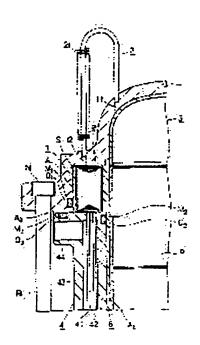
(72)Inventor: OSHIMA HIRONOBU

(54) STIRLING ENGINE

(57)Abstract:

PURPOSE: To suppress leak of working gas and enhance the efficiency of a regenerator by making a member to form a regenerator unit accommodating space removably, and interposing a seal in joints of component members.

CONSTITUTION: A regenerator unit 7 is incorporated in a space S bordered by the lower bore of a cylinder head 1 of engine, the upper periphery of a liner 6, and an upper wall of a heat exchanger 4. O-rings 01, 02, 03 are interposed in the joints between the cylinder head 1 and regenerator unit 7, between cylinder head 1 and heat exchanger 4, and between heat exchanger 4 and liner 6. According to this constitution leak of working gas flowing in regenerator R to gaps A1, A2, A3 can be checked by the O-rings 01, 02, 03, so that the efficiency of regenerator R can be enhanced. Because the O-rings are so located as not to be exposed to high heat, the efficiency can be retained for a long period of time. Replacement of regenerator R and O-rings 01, 02, 03 are also easy.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

個日本国特許庁(JP)

40 特許出願公開

四公開特許公報(A) 平1-121553

@Int_Cl_4

識別記号

庁内黎理番号

母公開 平成1年(1989)5月15日

F 02 G 1/057 1/055 6706-3G -6706-3G

寒查語求 未讀求 発明の数 1 (全4頁)

公発明の名称

スターリングエンジン

20特 顧 昭62-277905

29H 昭62(1987)11月2日

分子 明 者

大 'n. 信 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

の出 醒

;)

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

の代 理 弁理士 西野 卓嗣 外1名

额

1.発明の名称

スターリングエンジン

2.特許請求の飯田

(1) エンジンのシリンダのライナ下部外間にこ れと琴弦内間とを密着させて作動ガス冷却用熱交 換器が配備され、シリングのライナ上部外周とシ リンダヘッドの下部内周とに間隔を置いてこのシ リンダヘッドの下端周縁と前記熱交換器の上壁の 一部とを突き合わせ接合してシリンダヘッドがシ リンダのライナ上蝸周級に被せられ、シリンダの ライナ上部外周とシリンダヘッドの下部内周と熱 交換器の上盤とで囲まれたスペースに再生器ユ ニットが内蔵され、かつ、このユニット外壁とシ リンダヘッドの下部内周壁との間及びシリンダの ライナ下部外周壁と熱交換器の器壁内周との間な らびに熱交換器とシリンダヘッドとの前記突き合 わせ接合部との間にシール部材が装備されている ことを特徴としたスターリングエンジン。

(2) 特許請求の範囲第1項に記載のシール部材

が弾性のオーリングであるスターリングエンジ ν.

3.発明の詳細な説明

(4) 産業上の利用分野

本発明は、例えば冷暖房用のスターリングエン ジンの改良に採り、特にその再生器効率を改善す るものに関する。

(ロ) 従来の技術

スターリングエンジンの再生器効率を改善した 従来の技術として、傍えば第4因に示したもの (特開昭62-82283号公報参照)がある。

第 4 国において、(10)はスターリングエンジン のシリンダヘッド、(20)はシリンダヘッド(10)に ロウ付けされ、その中を作動ガスが流れるヒー ターチューブ、(30)はスターリングエンジンのシ リンダ、(40)は作動ガスの冷却器、(50)は冷却器 (40)のホルダー、(60)はシリンダ(30)のティナ で、このライナ内周壁に沿ってディスプレーサー ピストン〔図示せず〕が摺動する。(70)は再生器 ユニットであり、(80)はこの再生器ユニット(70) とシリンダヘッド(10)及びライナ(50)とのすき間であり、このすき間はロウ材(90)で密封されている。

(n) 発明が解決しようとする問題点

このような構造の従来のものにおいては、すき間(80)に作動ガスが漏れて流れることはないので、再生器効率を向上させ得る利点がある反面で、再生器ユニット(70)を交換しにくい欠点が点が高。なお、この交換のことを考慮してすき間(80)にオーリングを介在させる手段もあるが、この無いのではないでは、シリング内頂部の高温の作動ガスの無があっているのでは、ショングがある。

また、上記構造の従来のものにおいては、冷却器(40)器壁とシリングヘッド(10)及びライナ(60)とのすき間(X)やこれらとホルダー(50)壁とのすき間(Y)などにはシールが施されていないため、これらすき間に作動ガスが流れ込んでエンジン外部へ満れ出す問題点もある。

編れを防ぐ作用があり、再生器効率の向上効果が もたらされる。かつ、すき関A。にシール部材を介 在させたことによりエンジン外部への作動ガスの 編れを経滅することができる。

また、上記の突き合わせ接合部を取り外すこと によって、再生器ユニットの交換を関便に行うこ ともできる。

さらにまた、シール部材をエンジンの低温 領域 の箇所に取付け得るので、シール部材の熱による 損傷を軽微にすることも可能となる。

(1) 実施例

第1図は本発明による冷暖房用スターリングエンジンの一実施例としての要部を示した一部切欠 断面構成図である。

第1図において、(1)はスターリングエンジンのシリンダヘッドであり、(2)はシリンダヘッド(1)にロウ付けされたヒーターチューブで、この中をヘリウムガスなどの作動ガスが流れる。なお、(21)はヒーターチューブ(2)外面に設けた螺旋形のフィンである。(3)はスターリングエンジ

本発明は、これらの問題点に鑑み、作動ガスの エンジン外部への編れを軽減でき、かつ、再生器 効率も向上させ得るスターリングエンジンの提供 を目的としたものである。

(二) 問題点を解決するための手段

本発明は、上記の問題点を解決する手段として、スターリングエンジンのシリングのライナ上部外間壁とシリングへッド下不可と冷却器というが、一ス内に再生器ユニッドへ開発といって、かつ、このユニット外壁とソッドで部外に対し、かつ、このオき間Aiならびにシリング外間をと冷却器上壁の一部とを突き合われば、のするものする。

(*) 作用

本発明のスターリングエンジンにおいては、す き間Aiとすき間Aiとにシール部材を介在させたこ とにより、再生器ユニット外壁個への作動ガスの

ンのシリンダであり、(8)はシリンダ(3)のライナである。(4)はライナ(6)下部外周にこれと密着させて設けた作動ガス冷却用熱交換器で、この熱交換器の上壁とシリンダヘッド(1)の下端周縁とが突き合わされて接合されている。(41),(42)はそれぞれ熱交換器(4)に設けた作動ガス用通路であり、これら通路を流れる作動ガスと熱交換器であれる作動がスと熱交換器であれる作動がスと熱交換とであれている。

そして、シリンダヘッド(1)の下部内周とライナ(6)の上部外周と熱交換器(4)の上壁とで囲まれたスペース(S)に再生器用ホルダーとしての再生器ユニット(7)が内蔵されている。この再生器ユニット(7)はライナ(6)と一体に形成されていて、第2図に示すように、再生器収納用の複数の孔(71)。(71)…を有している。なお、再生器ユニットをライナ(6)と別体に形成することも可能である。

また、(R)はスリーブもしくはケース内に多数の金網を重ねて形成した再生器、(11),(12)はそ

れぞれシリンダヘッド(1)に設けた作動ガス用通路であり、これら通路(11)。(12)と、シリンダ(3)内上部及びヒーターチューブ(2)内ならびに存生器(R)と、前記通路(41)。(42)と、シリンダ(3)内下部とが遠通している。

(P)はライナ(6)内周面に沿ってシリンダ(3)内を上下に指動するディスプレーサービストンである。 なお、(B)は上端部と下端部とに進ネジを形成した線付部材で、その上端部をシリンダへった (1)のフランジ部の孔に挿入する一方、下端部にナット(E)をエンジンのクランクケース(図示せず)のフランクケース(図示せず)のフラングでは、熱交換器(4)をシリンダへっド(1)とクランクケースとの間に介在されて、ない、1(E)を続付いる。 そして、熱交換器(4)をシリンダへっド(1)とグラングへっド(1)を続付部材(B)およびナット(E)で続付け固定するようになっている。

(0.)は再生器ユニット(7)外周面とシリンダ ヘッド(1)内周面とのすき間(A.)に介在させた弾 性のオーリングで、これはシリンダヘッド(1)内

とは殆んどない。このため、これらオーリングの 熱による損傷は殆んどない。そのシール機能グ(0₁) を図示の位置よりも下方に、すなわち、熱ーリング(2₁) を図示の位置よりも下方に、すなわち、オーリング(0₁) も再生器(R)の低温領域〔200℃前後ング(0₁) が展現域〕の近く、すなわち、シリンダのの (1)の下部の海(ピ₁)に嵌め込まれているため、 オーリング(0₁)の損傷も少ない。

さらにまた、本エンジンにおいては、部付部材 (B)及びナット(N)によるシリンダヘッド(1)、熱交換器(4)、クランクケース (図示せず) の締付けをゆるめ、これらを取りはずすことにより再生器(R)、オーリング (O_1) 、 (O_2) 、 (O_3) の交換を容易に行うことができる。

また、第3図は本エンジンの機略の全体構成を 表わした系統説明図である。第3図において、 (K)はクランクケース、(C₁),(C₁)はそれぞれシ リンダ、(P₁),(P₁)はそれぞれディスプレーサー ピストン、(U₈),(U_c)はそれぞれ暖房用、冷房用 周面の下部の禘(ピ)に嵌め込まれている。また、(0゚)はライナ(8)外間面と熱交換器(4)内周面と とでしている。またのすき間(Δ゚)に介在させた弾性のオーリングでいる。かつまた、(0゚)はシリンダで、これは、かつまた、(0゚)はシリングで、これは、1)下崎周線と熱交換器(4)上壁との複合部のオーリングで、これは、2000に分割に介在させた弾性のオーリングで、これは、2000に分割に入る。

このような構成の冷硬房用スターリングエンジン(以下、本エンジンという)においては、再生器(R)を流流する作動ガスのすき間(A,),(A2)。(A,)への漏れがオーリング(O,),(O,),(O,)によってせき止められるため、再生器(R)の効率を向上させることができる。また、オーリング(O,)により、エンジン外部への作動ガスの漏れを大巾に軽減することができる。

かつまた、本エンジンにおいては、オーリング (O_a) , (O_a) を熱交換器 $\{ \land$ 却器 $\} (4)$ 器壁に設けた $\beta(Y_a)$, (Y_a) に 嵌め込んでいるので、これらオーリング (O_a) , (O_a) が高温の熱にさらされるこ

熱交換ユニット、 (R_{π}) , (R_c) はそれぞれ高温個、低温個の再生器、 (C_w) , (C_u) , (C)はそれぞれ高温個、低温個の再生器、 (I_{π}) , (I_{m}) , (

(1) 発明の効果

以上のとおり、本発明によれば、エンジン外への作動ガスの漏れを軽微にすると共に再生窓効率を向上する効果がスターリングエンジンにもたらされ、また、そのシール部材や再生器の交換も容易になるなどの実用的価値がもたらされる。

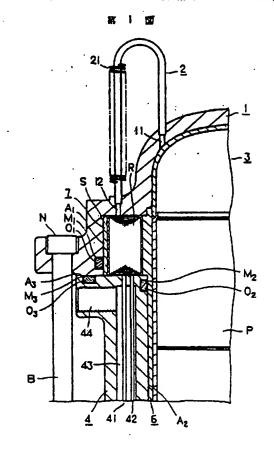
4. 図面の簡単な説明

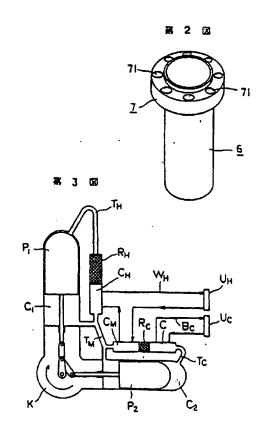
第1四は本発明による冷暖房用スターリングエ

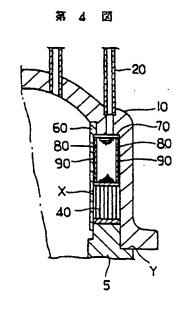
ンジンの一実施例の要部を示した一部切欠断面構成図、第8図は第1図の再生器ユニットの具体例を示した斜視図、第8図は冷暖房用スターリングエンジンの系統説明図であり、第4図は従来のスターリングエンジンの一部切欠断面構成図である。

(1)…シリンダヘッド、(3)…シリンダ、
 (4)…熱交換器、(6)…ライナ、(7)…再生器ユニット、(B)…再生器、(S)…スペース、(A₁).(A₂).(A₃)…すき間、(H₁).

出順人 三洋 電機 株 式 会 社 代理人 弁理士 西 野 卓 嗣 外 1 名







This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER: __

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.